

市立病院からのお知らせ

化学療法の外來診療を 開設しています



がん疾患の治療には、外科手術、抗がん剤治療、放射線治療などがあります。その中でも、抗がん剤治療は、近年、著しく進歩しています。

大腸がん化学療法においては、高いQOL（日常生活活動）を維持しながら、生存期間が飛躍的に延長しています。

市立病院では、自治医科大学附属さいたま医療センターで、豊富な経験を有する医師を招き、近隣の病院との連携を図り、高度な化学療法を提供しています。

外來診察日は、第2週・第4週の月曜日です。

受診希望の方は、まずは、外科外來へ電話で相談してください。

☎市立病院外科 ☎23-0611

秩父市立病院職員を

追加募集します

●採用予定職種

(平成29年4月1日採用)

・看護師 5人程度

※受験資格等は、実施要項(市HPにも記載)でご確認ください。

●試験

●試験日 平成29年1月17日(火)

●試験会場 市立病院

●実施要項の配布 市立病院管理課(土・日・祝日を除く午前8時

30分～午後5時15分)

●受付期間 12月12日(月)～24日(土)
(持参・17日(土)・日曜・祝日を除く午前8時30分～午後5時15分)

24日(土)は正午まで。郵送・期間内必着)

☎市立病院管理課

☎23-0611 FAX 23-0650

平成27年国勢調査確定結果

総務省統計局から平成27年国勢調査確定値が公表されました。

人口総数

(男) 63,555人
(女) 30,902人

世帯数

(男) 32,653人
(女) 24,038人

☎情報政策課 ☎22-2204

子どもの具合が悪いときの 上手なお医者さん のかかり方



ポイント1

かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、身近にいて、気軽に健康相談をしたり、病気の初期的な治療をしてくれるお医者さんのことです。普段の子どもの様子を把握していて、病気だけではなく予防接種などの相談にも乗ってくれます。必要なときには、適切な病院やお医者さんを紹介してもらえます。

ポイント2

できるだけ診療時間内に受診しましょう

昼間、子どもの体調がおかしいと思ったら、早めに受診しましょう。

休日や夜間の救急医療はあくまでも緊急事態に備えるためのものです。診療には医師以外にも検査技師、薬剤師、看護師など多くのスタッフが関わっています。緊急の場合を除き、体制が整っている通常診療時間内に受診しましょう。

ポイント3

休日・夜間に具合が悪くなったときの救急体制等を知っておきましょう

医師会等の協力で平日夜間小児初期救急診療や休日急患当番医があります。急な病気で困ったら受診しましょう。また、病院へ連れて行こうか迷ったら、小児救急電話相談(☎#8000または048-833-7911)をご利用ください。経験豊富な看護師が参考になるアドバイスをしてくれます。

※詳しくはP.24下欄をご覧ください。

ポイント4

子どもの症状や様子がわかる人が付き添いましょう

いつから具合が悪いのか、発熱や体の痛み、食事の状況、飲ませた薬などの説明をできる人が一緒に行くと診察がスムーズに受けられます。

ポイント5

診察を受けるときに持っていくと便利なもの

- ・保険証、診察券、母子健康手帳、子ども医療費受給資格証等
- ・体温や症状を書いたメモ、飲んでいた薬、着替え、タオル、紙おむつ、ティッシュペーパー、ビニール袋、おもちゃなど

☎地域医療対策課 ☎22-2279